



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月5日

上場会社名 ヨネックス株式会社

上場取引所 東

コード番号 7906 URL <http://www.yonex.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 米山 勉

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役

(氏名) 連下 千歳

TEL 03-3839-7112

四半期報告書提出予定日 平成26年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	31,559	12.0	843	138.0	1,315	100.0	609	79.8
25年3月期第3四半期	28,165	2.0	354	△55.4	657	△17.9	339	79.5

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 915百万円 (153.5%) 25年3月期第3四半期 361百万円 (567.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	28.11	—
25年3月期第3四半期	15.64	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	37,877	29,125	76.8
25年3月期	38,951	28,535	73.2

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 29,096百万円 25年3月期 28,506百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	7.50	—	7.50	15.00
26年3月期	—	7.50	—		
26年3月期(予想)				7.50	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年 3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	41,700	8.0	1,250	50.9	1,700	26.6	950	36.4	43.78

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

26年3月期3Q	23,405,200 株	25年3月期	23,405,200 株
26年3月期3Q	1,707,315 株	25年3月期	1,707,315 株
26年3月期3Q	21,697,885 株	25年3月期3Q	21,696,285 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きを実施しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。業績予想等の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結結果計期間における世界経済は、回復基調に転じた米欧先進国とこれまでの高成長に減速が見え始めた新興国という潮流の変化はあるものの、緩やかな回復が続いています。

スポーツ業界においては、プロスポーツの隆盛や世界規模のスポーツイベントへの関心の高揚等、光明が見え始め、用品販売の面でも、需給バランスの混乱は残るもののデフレ傾向の終息とともに回復の期待が高まっています。

一方、スポーツ施設事業は、競技人口の伸び悩みや利用料金の低下傾向に歯止めが掛からず、急速な回復が期待できない状況にあります。

このような経営環境の中、当社グループは素材・機能における先進技術と斬新なデザインを具現化した製・商品の投入により需要を喚起するとともに、国内外の契約選手の活躍に連動した広告宣伝活動やユーザーとの触れ合いによる直接的な販売促進活動、環境の変化に即応できるスピード優先の営業活動を展開し、ヨネックスブランドの浸透と売上増大を図ってまいりました。

この結果、当第3四半期連結結果計期間における連結売上高は315億59百万円（前年同四半期比12.0%増）と増加しました。広告宣伝費他経費の効率・効果を高めた結果、営業利益は8億43百万円（前年同四半期比138.0%増）、為替差益及びロイヤリティ収入の増加により、経常利益は13億15百万円（前年同四半期比100.0%増）、ゴルフ場における集中豪雨による災害損失を特別損失に計上し、四半期純利益は6億9百万円（前年同四半期比79.8%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① [スポーツ用品事業]

イ. [日本]

日本経済は、海外景気の回復や政府による景気刺激・成長促進政策の推進、賃上げに対する財界のポジティブな反応等により、所得環境の持ち直しや個人消費マインドの改善が見られ、徐々にではありますが着実に回復に向かっております。しかしながら、スポーツ用品業界への影響は極めて限定的です。

当社では、伸び悩む日本国内の販売に対し、主力となるバドミントンの位置づけを再認識し、製・商品力の強化に取り組み、選手層・愛好者層からのさらなるご指名を頂けるよう努めるとともに、需要の高まりを見せるアジア圏への拡販に注力し、輸出・仲介取引を強化いたしました。

テニスは、硬式テニスラケットの売上が伸び悩み、前年と同水準に留まり、ゴルフは、市場の縮小に加えウェア、アクセサリ等の売上が大幅に低迷し苦戦いたしました。バドミントンの輸出・仲介取引が大幅に伸張し売上増となりました。

さらに、販売費及び一般管理費の効率・効果を検討し費用の有効利用に努めました。

この結果、売上高は273億96百万円（前年同四半期比10.1%増）、営業利益は4億98百万円（前年同四半期比153.5%増）となりました。

ロ. [北米]

北米市場は、米国での財政の緊縮と不透明感の後退により、明るい兆しも見え始めております。

北米販売子会社では、テニス、ゴルフの売上は苦戦が続いているものの、バドミントンの売上が大幅に伸張したため、総体的な業績は改善されました。

この結果、売上高は10億29百万円（前年同四半期比24.8%増）、営業利益は60百万円（前年同四半期比61.2%増）となりました。

ハ. [ヨーロッパ]

ヨーロッパ市場は、ユーロ圏のGDP成長率がマイナス成長を脱し、個人消費も緩やかに回復基調に転じました。

ヨーロッパ販売子会社では、ゴルフは苦戦しましたが、バドミントン、テニスとも売上は伸張しました。しかしながら、販売価格の低迷により粗利益改善が遅れており、販売費及び一般管理費の負担は重く若干の利益を計上するに留まりました。

この結果、売上高は14億96百万円（前年同四半期比24.4%増）、営業利益は1百万円（前年同四半期は27百万円の営業損失）となりました。

ニ. [アジア]

アジア市場は、旺盛な個人消費に牽引されておりますが、中国や新興国・資源国の急成長が安定成長へと移り、経済の減速・鈍化が見られます。

台湾子会社における国内販売では、ゴルフが苦戦しておりますが、バドミントン、テニスが堅調な売上を維持しております。また、台湾子会社で製造したバドミントン用品の輸出は、製品の値頃感から大幅な増加となり業績を力強く牽引しました。一方で中国ゴルフ販売子会社では、新政権の施策や外交問題の影響から売上が停滞しております。

この結果、売上高は12億7百万円（前年同四半期比44.4%増）、営業利益は1億97百万円（前年同四半期比137.1%増）となりました。

これらの結果、各地域セグメントを合計したスポーツ用品事業の売上高は311億29百万円（前年同四半期比12.2%増）、営業利益は7億58百万円（前年同四半期比162.0%増）となりました。

② [スポーツ施設事業]

スポーツ施設事業の中核をなすヨネックスカントリークラブでは、夏季に発生した集中豪雨の影響によりコースに甚大な損傷を被りましたが、迅速な復旧作業と営業努力により入場者数の減少を最小限に食い止めました。

この結果、スポーツ施設事業の売上高は4億30百万円（前年同四半期比4.4%増）、営業利益は45百万円（前年同四半期比15.3%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産につきましては、378億77百万円となり、前連結会計年度末に比べて10億74百万円の減少となりました。その主な要因は、現金及び預金と売掛金の減少によるものです。

当第3四半期連結会計期間末の負債につきましては、87億51百万円となり、前連結会計年度末に比べて16億63百万円の減少となりました。その主な要因は、短期借入金と賞与引当金の減少によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産につきましては、291億25百万円となり、前連結会計年度末に比べて5億89百万円の増加となりました。その主な要因は、利益剰余金と為替換算調整勘定の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期通期の連結業績予想につきましては、平成25年10月31日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」の数値から変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,206,286	6,933,564
受取手形及び売掛金	9,731,183	8,912,287
商品及び製品	2,759,793	3,160,730
仕掛品	863,687	962,096
原材料及び貯蔵品	925,051	915,271
繰延税金資産	372,998	310,632
その他	1,332,624	2,143,435
貸倒引当金	△50,849	△59,648
流動資産合計	24,140,775	23,278,369
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	2,773,555	2,750,254
土地	7,490,859	7,527,726
その他（純額）	1,747,465	1,808,353
有形固定資産合計	12,011,880	12,086,334
無形固定資産	1,136,550	967,942
投資その他の資産		
投資有価証券	113,356	120,088
長期預金	500,000	500,000
繰延税金資産	810,204	731,604
その他	241,828	206,950
貸倒引当金	△3,392	△14,192
投資その他の資産合計	1,661,997	1,544,451
固定資産合計	14,810,428	14,598,728
資産合計	38,951,204	37,877,098

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,382,956	2,070,994
未払金	1,055,624	1,141,101
短期借入金	822,942	—
未払法人税等	370,485	142,011
未払消費税等	81,412	28,114
賞与引当金	548,570	189,751
設備関係支払手形	22,176	1,741
その他	719,894	908,460
流動負債合計	6,004,061	4,482,175
固定負債		
退職給付引当金	2,192,556	2,210,746
役員退職慰労引当金	175,548	161,562
長期預り保証金	2,023,083	1,880,186
その他	20,071	16,806
固定負債合計	4,411,259	4,269,301
負債合計	10,415,321	8,751,477
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,706,600	4,706,600
資本剰余金	7,483,439	7,483,439
利益剰余金	18,232,388	18,516,838
自己株式	△1,292,897	△1,292,897
株主資本合計	29,129,530	29,413,981
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,936	10,278
為替換算調整勘定	△628,861	△327,916
その他の包括利益累計額合計	△622,925	△317,637
新株予約権	29,278	29,278
純資産合計	28,535,882	29,125,621
負債純資産合計	38,951,204	37,877,098

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位: 千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
売上高	28,165,970	31,559,387
売上原価	17,031,489	19,583,330
売上総利益	11,134,481	11,976,056
販売費及び一般管理費	10,779,849	11,132,108
営業利益	354,631	843,947
営業外収益		
受取利息	8,091	6,609
受取賃貸料	20,138	9,117
為替差益	112,958	221,670
受取ロイヤリティー	171,930	242,638
海難事故に係る受取保険金	—	30,683
その他	26,993	23,558
営業外収益合計	340,112	534,277
営業外費用		
支払利息	21,709	17,558
売上割引	12,951	12,097
海難事故による損失	—	25,618
その他	2,515	7,496
営業外費用合計	37,176	62,770
経常利益	657,567	1,315,455
特別利益		
新株予約権戻入益	78	—
特別利益合計	78	—
特別損失		
災害による損失	—	185,296
特別損失合計	—	185,296
税金等調整前四半期純利益	657,645	1,130,159
法人税、住民税及び事業税	74,169	378,745
法人税等調整額	244,219	141,494
法人税等合計	318,388	520,239
少数株主損益調整前四半期純利益	339,256	609,919
四半期純利益	339,256	609,919

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	339,256	609,919
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△8,399	4,342
為替換算調整勘定	30,218	300,945
その他の包括利益合計	21,818	305,287
四半期包括利益	361,074	915,206
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	361,074	915,206
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	スポーツ用品事業					スポーツ 施設事業			
	日本	北米	ヨーロッパ	アジア	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	24,890,215	825,086	1,202,724	835,813	27,753,839	412,130	28,165,970	—	28,165,970
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	1,570,374	9,699	2,298	1,875,073	3,457,446	20,652	3,478,098	△3,478,098	—
計	26,460,590	834,785	1,205,023	2,710,887	31,211,286	432,783	31,644,069	△3,478,098	28,165,970
セグメント利益 又は損失 (△)	196,731	37,386	△27,887	83,473	289,704	39,516	329,221	25,410	354,631

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額25,410千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	スポーツ用品事業					スポーツ 施設事業			
	日本	北米	ヨーロッパ	アジア	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	27,396,098	1,029,658	1,496,528	1,207,006	31,129,291	430,095	31,559,387	—	31,559,387
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	2,100,330	10,235	2,988	2,574,179	4,687,733	20,899	4,708,633	△4,708,633	—
計	29,496,428	1,039,894	1,499,516	3,781,185	35,817,025	450,994	36,268,020	△4,708,633	31,559,387
セグメント利益	498,798	60,256	1,992	197,911	758,960	45,550	804,511	39,436	843,947

(注) 1. セグメント利益の調整額39,436千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。